

三木市中学校総合体育大会(剣道の部)

自由が丘中が代表奪還

H24・6・30 於三木中学校体育館

剣道

No. 159

7. 8月号

三木市剣道連盟
広報部
2012(平成24)年
8月29日(金)
発行

- 三木市中学総体剣道の部結果 (1面)
- 高齢者剣道の集い・ゴールデンエイジ・プロジェクト・昇段者紹介 (2・3面)
- 第25回兵庫県警察少年剣道大会結果(3面)
- 青野原駐屯地司令杯剣道大会結果 (4面)
- 基本技講習会・長野旗争奪剣道優勝大会結果 (5面)
- 緑が丘スポーツ少年団剣道クラブ夏合宿報告・月々の便り (6・7面)
- 三木市剣道連盟年間行事予定 (8面)

◎本紙は三木市剣連HP (<http://mikikenren2011.web.fc2.com/>)でもご覧いただけます。PDFでカラー印刷できます。

平成24年度三木市内の中学校各運動クラブが力を競う「総合体育大会」が、市内の中学校を会場として、6月30日(土)に行われた。部が市内でつしかなない剣道は、三木中、自由が丘中が互いにライバル意識を持って相争う。



参加した市内中学生の選手

個人戦は、男子30名、女子3名がエントリー、中には部のない三木東中、星陽中の生徒も混じっている。試合の機会が少ない選手たちに少しで

も多くのチャンスを与えようと、個人戦は、グループ総当たりのリーグ戦、後上位3人が決勝トーナメントに進出できる。



熱戦の様相

入賞者以下の通り

★男子個人

- 1位 低田 健(自由)
- 2位 亀園大輝(自由)
- 3位 今福太一(自由)
- 3位 樋口 諒(自由)

★女子個人

- 1位 内村友美(自由)
- 2位 岸本慧佳(三木)

団体戦は、自由中が3-1で三木中チームを破り、昨年度の雪辱を果たした。審判員として、三木市剣道連盟より小椋治朗指導部長以下19名が参加した。



山城三木中学校長から表彰される優勝した自由が丘中の選手たち

「第1回高齢者剣道の集い」に参加

三木市から高橋会長、森下副会長

7月1日(日)、発起人井上精一、阿部春治両氏の呼びかけで行われた表記の稽古会に、三木市から高橋洋三会長、森下哲次副会長が他の26名に交じって参加し、雨の中稽古を楽しんだ。この会は、65歳以上の男子、50歳以上の女子が参加資格で、段位は制限しない。仮称「高齢者剣道同好会」(案)によると、「私たち高齢者は、残された人生を有意義に暮らすため、剣道を通じて楽しい輪を作り、人格と技術を磨き、いたわり助け合いながら、会員相互の親睦を図るものとする。」と、会の目的を掲げている。当日は生憎の雨だったが、県下各地から集まった高齢者剣士26名、皆元気で午前10時から先ず形稽古を30分、その後ただちに面を被り適宜相手を選んで、思い思いのペースで稽古をした。最高齢は85歳の教士七段井上精一先生・磯崎昭朗先生。82歳の西脇の中根由正先生も元立ちに立たれた。参加者のほとんどが教士七段、それだけ稽古も充実し、年齢を感じさせない元気がふりだつた。昼食をはさんで稽古会は3時半までであり、会員はたつぷり汗をかいた。あと、この会を年4回もつことや、周りもちの会場を、当分、会が定着するまで、「印南剣道場」にすることなどを決め、懇親会に入った。

昇段おめでとう！

市内各学校 教室の昇段者

【剣道初段合格】

自由が丘中 今福太一、岡本悞平
内村友美

三木北高

吉見 陸、田正司祐奈

【剣道2段合格】

自由が丘中 低田 健、横山 数

一般会員

中本敏大

【剣道3段合格】

三木北高 吉田周平、戸田椋太

一般会員 竹内恒男 吉見昌宏

(平成24年7月31日現在 敬称略)

ゴールデンエイジ・プロジェクトに

小学生4名が参加

(二財)兵庫県剣道連盟主催の「ゴールデンエイジ・プロジェクト」の東播地区講習会が、平成24年7月21日(10時~16時)に加古川市立武道館剣道場で行われました。三木市からは日高・福田(中央)、越智・生友(別所)の4名の小学生が参加しましたが、全体では、小学生44名とその指導者二十数名(三木II大柴・越智先生)が参加して開催されました。まず始めに、池田専務理事(教士八段・元三木北高校剣道部顧問)による「ゴールデンエイジ・プロジェクト」の経緯の説明などを含めた挨拶がありました。また、今回の講師は浦先生(教士八段)、講師補助に平野先生(教士七段)が当たられ、懇切丁寧な指導が行われました。

浦先生による講話は、剣道理念「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」の説明が小学生にも解りやすく行われました。ここで、「『剣』とは日本刀のことで、『理法』とは、刀法、身法、心法の3つあり、これが揃つての有効打突になる。従つて、どれが欠けても一本にならない。また、剣道を一生懸命行うことが人と人の繋がりができ、互いに信じ、思いやる心が人間形成に繋がる」と説明され、「剣道は平安時代から伝わっており、日本の伝統文化である。次世代を担う君たちが、このことを正しく伝承していくことが君たちの使命で、将来には、君たちがこの講師の立場になつてほしい」と話された。

講話終了後は、基本動作である、足さばき、素振り(八方向の運び)を行った後、「木刀による剣道基本技稽古法」に入りましたが、立会前後の礼法(礼の仕方、左座右起)から始まり、(3面へ)

(2面から) 時々姿勢、構え、目付等の説明がありました。各地区の小学生もよく鍛えられており、比較的スムーズに進行し、講師からはお褒めの言葉がありました。

午後からは、防具を着けて基本動作(対人動作)の稽古、特に、「木刀による剣道基本技稽古法」の一本目(面・小手)、二本目を防具着けて稽古。その後、各地区の指導者への打ち込み稽古があったが、誰も休む者がなく、最後まで元気に稽古していました。三木市から参加した4名についても元氣よく稽古に臨んでいました。

最後は、各先生と各地区の指導者同士による合同稽古があり、小学生は見取り稽古でした。各地区の指導者へは「子どもたちが見ているので、模範を示すように」と、子どもたちへは「見取り稽古も大切なこと、先生方の稽古を良くみておくように」との浦講師から檄が飛んでいました。

(報告 大柴)

常勝三木署チーム準優勝 第25回兵庫県警察少年柔道・剣道大会

昨年中止された本大会「第25回兵庫県警察少年柔道・剣道大会」が、8月3日(金)午前10時から明石中央体育会館を会場に行われ、剣道の部は各警察署対抗、県下42チームによって優勝が争われました。

三木署チームは、吉川の藤田均監督の下、自由が丘・吉川の選手を中心にチームを組みました。

《メンバー 以下の通り》

- 先鋒 森本一成
- 次鋒 林 大稀
- 中堅 岡坂 蓮
- 副将 浅井優輔
- 大将 岡坂和奏
- 控え 中井海夏人、橋間祐生

予選リーグ戦では、豊岡北署と戦い、5-0(丹波市棄権のため

実質トーナメント戦)で一蹴、決勝トーナメント進出を決めました。決勝トーナメントでは、先ず篠



山署と戦い、前半の劣勢を中盤後半で盛り返し3-2で勝利、続く

たつの署とも3-1で競り勝ち、準決勝戦へ。

準決勝戦では三田署と争いましたが2-2の本数同じで代表選となり、浅井優輔が三田の代表賀喜凌介をメンで降し、決勝戦に臨みました。

銀メダル確定とはいえず、3年連続の準優勝を誇る我がチーム、何とか久しぶりに優勝をと意気込みましたが、相手、若竹会を母体とする相生署チームに4-0で完敗し、力尽きました。

【藤田監督談】

「今回の大会では、中学生の浅井・岡坂が勝負強さを発揮し、前半の小学生が何とか凌いで中学生につなぎ、最後を決めるといふ、小・中の連携がうまくいきました。中学生は、小学生をよく面倒を見てくれ、そのたくましさを見せてもらいました。今回も三木署のみなさんに大変お世話になり、選手たちは、大いに頑張りましたが残念でした」

(報告 藤田)

寺尾航平 勇気の一撃!

中学生男子の部で優勝 第5回青野原駐屯地司令杯少年剣道大会

青野原駐屯地主催による司令杯少年剣道大会が、8月4日(土)に、同駐屯地体育館において開催された。この大会は平成19年から実施されており、昨年度は、東日本大震災の影響で中止。今年で5回目の開催となった。

今年の大会に、北は丹波市から南は三木市までの六市一町(三木市、小野市、加西市、篠山市、丹波市、加東市、多可町)の16団体(187名)が参加して、盛大に開催された。

始めに、選手全員による合同稽古を行った。中本先生(別所)の指揮の元、中学生が元立を務め、小学生が切り返し、基本打ち、懸り稽古を行い、最後には中学生同士の稽古で締めくくった。第三回大会では、中学生が軽い熱中症にかかったこともあり、今回は軽めの合同稽古とした。

開会式の冒頭で宮本一佐より、「暑さに負けず、かつ、勝ちにこだわってがんばってください。」と選手たちを激励し、三木市剣道連盟からは来賓として、高橋洋三会長によるお祝いの言葉、選手宣誓は緑が丘スポーツ少年団剣道クラブの藤原玄君が選手としての決意を述べるにとどまらず、自衛隊員に対して日ごろの献身に感謝する旨言及して、世話に当たっている隊員たちを感激させた。

審判長注意では、審判会議でも話があったが、安栖敏夫審判長より、第3回大会の例を出し、選手の様子が変化すれば、即、試合を中止するよう安全には十分注意するようにとのことであった。開会式に引き続き体育館横の官用車駐車場にて、同駐屯地の装備品であ

る中SAMの訓練展示が実施された。以前の大会では自衛隊主催であるにもかかわらず、自衛隊の特徴が出ていなかった。今回、自衛隊の大会としての特徴を出すため特別に実施していただいた。前日の夜遅くまで準備・テストしていただいた結果、選手、父兄、審判員など、皆が興味深くそれを見学した。

大会は8部門に分かれ、個人戦形式で行われた。審判長の「試合開始」の号令の元一斉に開始した。気温30度を超える猛暑の中、選手たちは元氣一杯「勝ちにこだわ」最後まで試合に挑み、一人の脱落者を出すこともなく無事終了した。

各部とも熱戦を展開したが、今大会特に盛り上がったのは、中学生男子の部の試合だった。エントリー数24名、吉川の実力者浅井橋間、池田らを含む中学校剣道部員が鎧を削り、ついに優勝戦、片や社剣道スポーツ少年団大橋光樹対するは志染スポーツ少年団剣道部寺尾航平、大橋の動に寺尾の静互いに譲らず技の応酬あり。寺尾相手の出てくるところをコテに

切つてとり先取するも、大橋すかさずコテに返し、互角の戦い。時間切れ寸前大橋自信のコテに応じて寺尾の二段打ちが決まり、寺尾の優勝、勇気の勝利だった。

【各部の入賞者】

- 《小学1・2年生の部》
 - ①倉津翔雅(剣修会) ②東隆啓(中央) ③照井葉生(志染)
- 《小学3年生の部》
 - ①飯田日向(柳心館) ②橋川友一(柳心館) ③南川誠士郎(篠山)
- 《小学4年生の部》
 - ①橋間祐仁(吉川) ②森本裕重(吉川) ③中本紫那(別所)
- 《小学5年生の部》
 - ①二杉晃平(別所) ②望月雄登(柳心館) ③藤本卓弥(柳心館)
- 《小学5・6年生女子の部》
 - ①安平りん(加美) ②山田葵(柳心館) ③西野瞳(柳心館)
- 《小学6年生男子の部》
 - ①岡坂蓮(吉川) ②森本一成(吉川) ③藤原玄(緑が丘)
- 《中学生男子の部》
 - ①寺尾航平 ②大橋光樹(社) ③加藤裕介(北条)
- 《中学生女子の部》
 - ①岡坂和奏(吉川) ②三藤暢子(吉川) ③藤本沙織(志染)

(報告 中谷)

剣道基本技稽古法

講習会開催される

去る7月2日(月)、9日(月)の両日午後7時30分から、市民体育館で、市内各少年剣道教室の指導者を対象に「剣道基本技稽古法講習会」が行われ、のべ26名が受講した。

本講習会は、基本技稽古法を各教室の稽古内容に生かしてほしい、そのためには指導者が熟達する必要があると、三木市剣道連盟少年指導部が初めて取り組んだ。

講師を務めたのは、小椋治朗教士七段で、基本技稽古法の「指導のツボ」を丁寧にわかりやすく解説され、参加者は熱心に練習していた。



真剣に受講する指導者たち

豪快木村文教の諸手突き

三木中央チーム3回戦進出 — 第48回長野旗争奪剣道優勝大会 —

東播8市親善剣道大会を目前にした、8月5日(日)、兵庫県立武道館を会場に、「第48回長野旗争奪剣道優勝大会」が行われ、我が三木市からは一般の部に「三木」、「三木中央」の2チームが昨年に引き続き参加した。

「三木」チームは、松本克基を主将として、先鋒に若手の山口直樹を起用するなど若手3人を前に揃え、副将小林隆仁、大将松本克基と手堅い布陣。一方「三木中央」はベテラン木下穂玄を大将に据え、木村一徳・文教の兄弟が同じチームで戦った。

「三木」チームは、緒戦「新日鉄広畑」と対戦。3-0で降し2回戦へ。この試合では先鋒の山口が、上背のある相手に対して臆することなく、若武者らしいのびの

びとした剣道でメンを先取り弾みをつけた。中堅西本がコテで先取しながらメンを奪われ、相手が勢いに乗って小手に出るところをコテ・メンの二段打ちで勝利した。



植田選手(二刀流)と闘う渡邊選手(左)

次鋒渡邊慎平の相手は、珍しい逆二刀を使い、やりにくい相手だったがよく凌いだ。

「三木」チーム二回戦の相手は「赤穂市剣道連盟」、2-0で敗れた。

「三木中央」チームは、緒戦「福良剣友会」を5-0で降し、二回戦も「印南剣道場」を4-1で斥けるなど健闘したが、三回戦の相手は、全国刑務所大会で優勝



今まさに突かんとする木村選手(右)

したとか噂される「加古川刑務所」チーム。先鋒栗田良之助こそ引き分けたものの、後の四人はいずれも二本負けを喫し、4-0で完敗した。唯一の一本は副将木村文教の豪快な諸手突き、会場がどよめいた。